

FNIRSI

DPS150

ポータブル可変直流電源 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：DPS-150中国語取扱説明書V1.1、本文1～15ページ。原本はDPS-150表記、サイトの製品名はDPS150。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 安全・入力電源
2. 概要・端子・全キー
3. 主画面・出力・プリセット
4. 保護状態・設定メニュー
5. 仕様
6. PCソフト・接続・基本機能
7. PCソフト・シーケンスとスキャン
8. ファームウェア更新・製造元

1. 安全・入力電源

- ・本書を読み、指定手順で使用してください。可燃性・爆発性のある環境では使用しないでください。廃機器・廃電池は地域の規則に従って処分します。
- ・本機は降圧方式です。入力電圧は出力電圧より高くする必要があります。
- ・DC入力とType-C入力の2つへ同時に給電しないでください。低電圧側の電源を損傷するおそれがあります。
- ・誘導性・容量性負荷は、負荷を接続してから出力を有効にすることを原本は推奨しています。大電力出力時は発熱するため、十分に換気された環境で使用してください。
- ・バッテリー充電に使用する場合は、出力へ逆流防止モジュール（例：ショットキーダイオード）を追加することを原本は強く推奨しています。

入力上限に矛盾があります

仕様表はDC5.0～32Vですが、安全章はDC5～30V、5V未満で低電圧ロック、30Vを超えると損傷のおそれがあるため5～30Vを推奨と記載します。本書では安全章を優先し、メーカーへ確認するまで30Vを超える入力を使用しないでください。出力逆流防止機能の記載があっても、原本の充電時追加保護の注意を省略しません。

2. 概要・端子・全キー

出力電圧0～30V、電流0～5Aを設定する可変直流電源です。Type-C入力、PD／QC給電、複数の保護機能を備えます。150Wは入力電源と動作条件に依存し、すべての給電方法で得られる保証ではありません。原本は複数台の直列利用を紹介しますが、絶縁条件・接続手順・最大総電圧は記載がないため、自己判断で直列接続しないでください。

各部・キー	操作
DC／Type-C入力、スイッチ	給電端子と電源スイッチ。2入力へ同時給電禁止。
Microデータ端子	PC接続・ファームウェア更新。Type-C入力と区別。
4mmバナナ出力＋／－	出力極性を確認して負荷を接続。
出力キー（電源図記号）	短押し：出力の開始／停止。長押し：操作キーのロック／解除。
HOME（家の図記号）	短押し：設定画面。長押し：計量オフ時は時間をゼロ、オン時は容量・電力量・時間をゼロ。
M	主画面の短押し：プリセット画面。波形画面の短押し：データグループ切替、長押し：連続切替。
左／右	主画面：プリセット切替。波形画面：時間軸縮小／拡大。桁の選択中：左／右移動、長押し：連続移動。
切替キー（左右向き矢印図記号）	短押し：主画面で桁選択、設定画面で項目編集。長押し：主画面／波形画面切替。
調整ホイール	左へ動かすと選択桁を減らし、右へ動かすと増やす。

3. 主画面・出力・プリセット

主画面は入力電圧、音のオン／オフ、内部温度、RUN状態、実際の出力電圧・電流・電力、設定電圧・電流、Ah／Wh／時間、保護状態、プリセット番号、ロック、CV／CCを表示します。Ahは容量、Whは電力量です。原本の説明文にはこれらの呼称を逆にした箇所があります。

切替キーを短押しすると電圧設定の桁が選択されます。再度短押しで電圧／電流を切り替えます。左／右キーで桁を移し、ホイールで値を変更します。電圧は0.01V刻み、電流は0.001A刻みです。

プリセット：主画面でMを短押しし、切替キーで電圧／電流を選択、ホイールで設定、Mを再度短押しして保存します。主画面の左／右で使用するグループを切り替えます。6組（1～6）あり、各組に電圧と定電流設定を保存します。M2は第2組です。

出力キー短押しで出力を開始／停止、長押しでキーをロック／解除します。ロック表示は未ロック時に灰色、ロック時に白色です。PCソフトへ接続すると自動的にロックされ、本体キーから解除できません。CVは定電圧、CCは定電流です。

設定範囲と定格の区別

原本の設定画面・説明は電流0～5.10A、仕様表は出力0～5Aです。設定できる5.10Aを定格5A超の連続出力保証として扱わないでください。

4. 保護状態・設定メニュー

表示	意味
OK	正常
OVP／OCP	過電圧／過電流
OPP／OTP	過電力／過温度
REP／LVP	逆接続／低電圧

正常以外の保護状態を検出すると赤い異常表示、出力停止、ブザー警報になります。低電圧保護中は出力を有効にできません。原因を解消してから再操作してください。

HOME短押しで設定画面へ入り、左／右で設定ページを変更します。切替キー短押しで編集桁を選び、ホイールで調整、HOME短押しで保存して終了します。

メニュー	原本の範囲
OVP	0～30.00V
OCP	0～5.1A
OPP	0～150.00W
OTP	0～99 °C
LVP	0～30V
言語	中国語／English
スタイル	通常／工業風
明るさ・音量	段階調整。段階が高いほど明るい／大きい。
計量	オン／オフ
About	モデル、機器アドレス、バージョン

保護しきい値は対象負荷と給電条件に合わせて設定してください。画面例の数値は推奨設定値ではありません。

5. 仕様

項目	原本の値
画面	2.8インチ、320×240
入力電圧	DC5.0～32V（安全章は5～30V、前章の注意参照）
入力電流	100mA～5A
給電方式	PD／QC急速充電プロトコル、モバイルバッテリー
出力電圧／電流／電力	0～30V／0～5A／0～150W
設定分解能	電圧10mV、電流1mA
設定値精度：電圧	≤0.1%±5mV（原本表記）
設定値精度：電流	≤0.1%±3mA（原本表記）
読戻し精度：入力電圧	≤0.2%±5mV（原本表記）
読戻し精度：出力電圧	≤0.1%±10mV（原本表記）
読戻し精度：出力電流	≤0.1%±10mV、0～3.5A（原本表記）
負荷変動率	0.49%
全負荷効率	96.30%
寸法／重量	106×76×28mm／約178g
使用環境	0～40 ° C、0～75%RH
保護	過電圧、過電流、低電圧、過電力、過温度、入力逆接続、出力逆流

原本の精度表に単位不整合
出力電流の読戻し精度に電圧単位mVが記載されています。mAへ推測で修正しません。精度表の≤0.1%±表現の基準値、試験条件、全負荷効率の条件も明記されていないため、メーカーへ確認してください。

6. PCソフト・接続・基本機能

本機を起動し、MicroデータケーブルでPCへ接続します。通信ポートを選びます。原本はPCのデバイスマネージャーで確認できると説明しています。接続ボタンを押し、左側のテキスト欄に接続成功と表示されたことを確認します。接続中は本体キーがロックされます。対応OS・ドライバーの詳細は参照原本に明記されていません。

基本画面の機能	内容
波形	電圧・電流を記録、保存、削除。片方の波形だけを選択するとマウスホイールで拡大縮小。
電圧・電流設定	現在グループの値を変更。ここでの変更は保存されず、再起動で元の値へ戻る。
データグループ	最大6組の電圧・電流プリセットを設定・保存。
計量スイッチ	容量・電力量を積算。オフ後に再度オンにすると再計算。
明るさ	14段階。
USB情報	製品モデル、ファームウェア、通信速度、ポート、アドレス、接続状態。
基本情報・操作	入力／出力電圧、出力電流、電力、温度、状態を表示し、出力を開始／停止。

7. PCソフト・シーケンスとスキャン

シーケンス出力：実行する番号範囲、繰返し回数、各電圧・電流・時間を設定します。開始すると順に出力し、他の画面はロックされます。実行済みはOK、未実行は待機表示です。一時停止はその時点の番号の出力を保持し、続行で設定した遅延に従い後続を実行します。手動モードの単ステップはクリックごとに進み、停止時は現在番号の出力を保持します。

スキャン	設定条件
電流	電圧を固定（>0V）。開始／終了電流0.000～5.000A、開始と終了が同値は無効。ステップ0.001～5.000A。遅延1～86400秒。主にCC用途。
電圧	電流を固定（>0A）。開始／終了電圧0.00～30.00V、開始と終了が同値は無効。ステップ0.01～30.00V。遅延1～86400秒。主にCV用途。

スキャン実行中は他画面の操作がロックされます。停止ボタンを押すとスキャンを終了し、出力も停止します。

一時停止は出力停止ではありません

シーケンスの一時停止・手動停止は現在の出力を保持すると原本に記載されています。スキャン停止による出力停止と混同しないでください。負荷に触れる前に出力状態を確認します。

8. ファームウェア更新・製造元

方法1：メーカー公式の対応ファームウェアを取得・展開します。HOME（家の図記号）を押しながらMicroデータケーブルでPCへ接続し、更新モードへ入ります。PCに表示されるリムーバブルドライブへファームウェアをコピーすると、自動更新します。進捗百分率を確認し、完了後に自動再起動します。失敗した場合はメーカー窓口へ連絡します。

方法2：About画面とPCソフトの機器アドレスが同じことを確認します。MicroでPCへ接続、ポートを選び接続します。接続成功後、上部のファームウェア更新からBOOT／再起動を選択します。表示されたリムーバブルドライブへファームウェアをコピーすると自動更新し、完了後に再起動します。

更新時の補足

更新処理中は給電・ケーブルを切らないでください。型番・ハードウェアに対応した公式ファイルだけを使用します。原本には復旧手順や一般的な故障対策表はありません。異常はメーカー・販売窓口へ相談してください。

製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.。メーカー原本の連絡先：0755-28020752、support@fnirsi.com、business@fnirsi.com、www.fnirsi.cn。住所：深圳市龍華区大浪街道・偉華達工業園C棟西側8階（原本記載）。実施規格GB 20943-2013の記載は、日本の認証を確認したものではありません。参照原本に具体的な保証期間・販売店保証条件は記載されていません。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：DPS-150中国語取扱説明書V1.1、本文1～15ページ。原本はDPS-150表記、サイトの製品名はDPS150。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/dps150-multi-90d68bf0f3e1.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宥商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
中国語本文1～2ページ	使用上の注意、概要、各部・端子。
3ページ	全仕様・精度表。入力上限と電流精度単位の矛盾を注記。
4～8ページ	全キー、全状態、電圧電流、6組プリセット、ロック、設定。
9～12ページ	PC基本・高度機能、シーケンス、電流／電圧スキャン。
13～15ページ	Micro接続、HOME更新とPC更新、安全全項目、製造元。